



くれよん

2008年7月22日 第54号
NPO 法人町田市学童保育クラブの会
所在地 町田市忠生 3-12-11
電話 042-791-2556
広報委員会 発行



指定管理者制度の現状



指定管理者制度が法律で定められて4年が経過しました。町田市の学童保育クラブは04年度より指定管理者制度が導入されています。

09年度4月には、つくし野小学校と高ヶ坂小学校、図師小学校に学童保育クラブが新設され、全ての小学校区に学童保育クラブが設置されることになりました。この時点で、公立6クラブ、指定管理者によるクラブ32、委託契約によるクラブ4となります。

指定管理者制度は公の施設を管理運営するにあたり、指定管理者を募集し、選定を行っていく制度です。公の施設を指定管理者制度による運営とするのか、市の直営とするのか、自治体を選択することになっています。2007年度では、全国で指定管理者制度が導入された学童保育クラブは約1400カ所あります。町田市は指定管理者制度を早い時期に導入をした自治体といえます。

指定管理者制度が法律で定められた意図は、「規制緩和」による民間活力の導入、および経費縮減です。法律には必ずしも「公募」による選定と規定されていないため、指定管理者制度が導入される以前より「委託契約」で運営されていた学童保育クラブは、指定管理者制度への移行にあたり、「特命指定」として公募なしに指定を受けてきました。

先日、児童青少年課による施設長会議において、市では、指定管理者制度全体の見直しを行うことになったとの説明がありました。制度が導入されて4年、まだ運用に関しては過渡期にあり、市民ホールや体育館といった市の公共施設、学童保育クラブについても、制度の見直しが行われる、その一環として今後の学童保育クラブの指定管理者選定については全て「公募」とするとのことでした。また、指定期間は3年が5年になります。

今後、理事会を開き、再選定および新規公募について審議を行っていく予定です。

子どもを健やかに育てる「児童福祉」は、「継続性」が重要であり、指定管理者制度には本来なじまない性質をもっています。

また、当法人の前身である各学童保育クラブの運営委員会による委託契約の時代から、保護者と共に学童保育クラブを運営してきた歴史を、法人設立後も引き継いできた経緯があります。事業を継続して運営してきた実績が、公募によりどのように評価されるかは不明です。

指定管理者制度が、「経費の縮減」を本来の目的としていることから、当法人が継続して学童保育クラブを運営できる保障はなく、保護者と共に安定した運営をしてきた歴史が、公募により途絶えてしまうことになりかねません。

第6回 定期総会 報告

6月22日（日）、午後2時より町田市民文学館ことばらんど大会議室にて、第6回定期総会を開催しました。

来賓として「町田市社会福祉協議会学童保育事業担当主幹」山田弥生さま、および当法人谷田川名誉理事長より、ご挨拶をいただきました。総会は正会員の方をはじめ、各保護者会役員の方等64名の出席でおこなわれました。



<報告を行う三階理事長>

総会プログラム

1. 開会の挨拶
2. 来賓のご紹介
3. 議長および議事録署名人の選出
4. 2008年度事業経過報告
5. 審議事項
 - 第1号議案 2007年度事業報告
および決算について
 - 第2号議案 2008年度事業計画
および決予算について
 - 第3号議案 役員の選任について
 - 第4号議案 評議員の選任について
6. 報告事項
中期計画策定に向けて
7. 閉会の挨拶

事業計画の審議の中で、今年度は5クラブが指定管理者の再選定にあたり、公募となるとの報告がありました。この点について、会員の方から多くのご意見をいただきました。特に、保護者の立場より、公募になることで、指定管理者が変更する可能性が高く、保育の継続性について不安がある、との意見が寄せられました。

役員の選任では、矢田信久理事が退任することに伴い、新理事としてわんぱくクラブより田中央宏さん、4月より当法人による運営となりました鶴川クラブより、市川佳孝さんが選出されました。

中期計画策定に向けた中間報告が行われ、意見交換が行われました。



<審議の賛否を表明する会員>



出産のため6月末で退職をする事務局職員大野さんに花束が贈られました。



新理事就任のご挨拶

田中 史宏 理事

7月より理事に就任しました田中史宏です。わんぱくクラブで娘がお世話になっております。新任理事としてではなく、一人の親としてご挨拶させていただきます。

先日、第6回定期総会に出席し、今まさに直面している問題を改めて知りました。それと同時に、これまで学童保育クラブを育ててきて、さらにこれからもっと良くしていこうという当法人の考えと熱意を強く感じました。

「子どものために何が必要か、何をしてあげたいか」と考えることが、家庭での保育だけでなく学童保育クラブでも大切だと思います。学童保育クラブで保育を行うのは指導員の方々です。一人の親としては、「子どものため」を実践していただける方に保育をお願いしたいと思っています。皆様はいかがお考えでしょうか。

これからよろしくお願ひ申し上げます。

市川 佳孝 理事

一年前、鶴川学童保育クラブで父母会の会長を引き受けたのは息子が3年生で、娘が1年生ということもあり、「息子の学童嫌いが何とかならないかなあ」と考えたからでした。しかしよりによってその年は指定管理者制度への移行の年でもあったわけで、それまで考えもしなかった学童保育クラブの運営というものの仕組みについて知らざるを得ない状況になりました。その結果今年、当法人の理事を引き受けることにいたしました。学童保育クラブはたった3年間しかありませんが、学校では学べない学年を超えた友だちとの接し方を学ぶことができる、とてもいい経験のできる環境の場だと私は信じ、そう願っています。

この本 おすすめします

『月刊 日本の 学童ほいく』 編集・発行 全国学童保育連絡協議会

働きながらの子育てと、学童保育の実践に役立つ記事が満載です。

毎月の特集に加え、「出会い集い父母会」「仕事・職場のいま」などの企画やマンガ「学童ぶいぶい」「こどもクイズらんど」「どうしてどうして？」など子ども向けのページもたくさんあります。

8月号には、「夏休みのお弁当」と題して読者からの「お弁当レシピ」「お弁当にまつわる思い出深いエピソード」も掲載されています。



ちょっと拝見!

成瀬(あおぞら)クラブ

ぷちくれよんひろば

地域の乳幼児とその保護者の方の交流を目的に、午前中に学童保育クラブを開放し、子育て支援事業を実施しています。

成瀬あおぞらクラブでは、今年度5月よりぷちくれよんひろばを開催しています。初めてのことで何人の方が来ていただけるのか予測できないままのスタートでしたが、初回は7組の親子が参加してくださいました。

回を重ねるごとに多くの方に来ていただき、現時点での利用登録者数は35人となりました。

参加していただいたお母さま方より、「この地域でも始まりよかったです。」「近所にもだちがいなかったのに、こういう場があって嬉しいです!」という声をいただいています。お友だちと誘い合って参加して下さる方もいます。また、参加された方々がどんどん親しくなっていく姿に、地域の乳幼児のお母さまがたが、ぷちくれよんひろばを通してつながりを広めていただいていることを嬉しく感じます。



<お誕生会の様子>



6月17日 七夕まつり



この日は、お天気もよく、開始時間の10時には14組の親子が参加してくださいました。七夕まつりの企画では、お母さんと一緒に折り紙で天の川、ちょうちんやお星様を作り、短冊に願いを書き笹に飾りました。ペタペタとのり付けを楽しむ子、はさみに挑戦する子、短冊に絵を描く子、お母さんのおひざでニコニコの子...それぞれ楽しんでいただけようでした。できあがった作品は、おみやげとして持って帰っていただきました。

タイムスケジュール

10:00	開放タイム
11:00	はじめのうた ♪あくしゅであいさつ 七夕まつり 終わりのうた ♪げんこつやまのたぬきさん
11:30	ランチタイム
12:45	さようなら

<七夕かざりを作っている様子>

今後の予定

8月 1日(金) 19時30分~	:	調査研究委員会(公民館 視聴覚室)
8月 2日(土) 19時30分~	:	事務局会議(公民館 学習室3)
8月 8日(金) 19時30分~	:	広報委員会(公民館 学習室2)
8月29日(金) 19時30分~	:	運営委員会(公民館 学習室1)

編集後記

○総会も終わり、編集部のメンバーも何人か入れ替わりしました。これからも子どもたちの笑顔を皆さんにお届けしたいと思っています。(大蔵クラブ保護者 小野寺)

○くれよん編集長を石田編集長にバトンタッチです。今後、法人の情報発信の場として『くれよん』とともにホームページの充実をすすめていきます。(金井クラブ指導員 小野)

『くれよん』は保護者と指導員で構成された広報委員会が毎月発行しています。バックナンバーの一部はホームページでご覧いただけます。
<http://www.machida-gakudou.com/>